



# 華となれ!

宮城県仙台二華中学校  
学校だより 第8号

【発行日】 令和元年9月11日

【連絡先】 022-296-8101

【文責】 副校長 加茂 博行

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ!」には、社会に貢献できる真のリーダー（「華」＝社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

## 練習の成果を発揮して中学生も大活躍!

### 縦割りのチームで文化祭は大成功

8月31日・9月1日の2日間にわたって、文化祭が行われました。

この日を迎えるまで、中学校は1～3年混合で、縦割りで「ダンス班」「演劇班」「アトラクション班」「集団制作班」に分かれ、夏休み前から準備を続けてきました。縦割りグループを決めたのは、5月のこと。そこからこつこつと準備を続けてきました。

朝早くから登校して、iPadを利用して振り付けを確認したり、台詞を覚えるのに苦労しながら、演技の練習をしたり、来てくれた方が心から楽しめるゲームを考えたり、色紙や台紙を準備したりと、すべての班で3年生が中心となってこの日を迎えるまで頑張りました。

二華中生のこの時期の奔走ぶりには、毎年感心させられます。しかし、生徒に聞いてみると、できあがったときの満足感がたまらずに、毎年この時期は文化祭に没頭するそうです。文化祭当日は、生徒たちが充実した笑顔で輝いていました。訪れた人に楽しんでもらうために、考えを巡らせ、体を動かし、心配りをするのは生徒を大きく成長させてくれるようです。



アトラクションの前日準備の様子

## 文化祭ハイライト

### ダンス班

縦割りグループで95名という大所帯となったダンス班。どの班も息の合ったダンスを披露してくれました。会場から、自然と手拍子がわき起こり、中学生・高校生から、大きな歓声が上がって、たいへんな盛り上がりとなりました。



迫力満点の力強いダンス

衣装を工夫したり、小道具を使用したりするなど趣向を凝らしたダンスは、1日目・2日目ともに、観客を魅了していました。

最後は全員で会場を囲むような隊形を取ってダンスを披露し、生徒たちはみんな額に汗しながらも、やりきった表情を見せていたのが印象的でした。

## 演劇班

例年ユーモアを取り入れながら、質の高い演技で好評を得ている演劇班は、今年は42人で劇を作り上げました。今年の題名は「君の名は」。2016年大ヒットした映画を参考に、二華中らしくストーリーを仕上げました。

二華中の劇で特徴的なのは、背景をプロジェクターで投影し、場の転換や、劇中のキーワードを巧みに表現していくところです。脚本はもちろん、背面の映像、演出、小道具も生徒の手によるもので、それぞれ自分の得意な部分を出し合って劇を完成させました。

主役の2人はもちろん、演技を披露したメンバーは表現力豊かに役を演じ、劇が終了したときには大きな拍手をもらっていました。



映像を上手に取り入れた劇

## アトラクション班

毎年迷路やお化け屋敷など、趣向を凝らした催しで評判のアトラクション班は、今年度66名でアトラクションを作り上げました。

今回のアトラクションは、ミニゲーム、脱出ゲーム、人狼ゲームの3つです。ミニゲームは参加者が協力してボールを落とさずにゴールまで運ぶボール運びゲーム（写真右）と、ペットボトルボーリングを運営しました。脱出ゲームは、数多くの難問を取りそろえ、参加者が頭を悩ましていました。人狼ゲームでは、論理的な思考力で人狼を見破る高度な頭脳戦が展開されました。

当日は大勢の方が来場しましたが、受付や誘導を工夫して、みんなが楽しめるように運営しました。小学生も多く来場し、親子で歓声を上げながらゲームを心から楽しんでいる様子を見て、中学生もたいへん満足そうでした。



アトラクション班のゲーム

## 集団制作班

今回の集団制作班は、109名が参加し、文化祭で一番の大所帯となりました。

生徒が作成した原画を元に、巨大なキャンバスに、「点描」のように約1cm四方の16色の折り紙を貼りつけて、巨大な貼り絵を制作しました。

集団制作で準備した折り紙は、合計213,840ピース。一人あたり平均で、実に2,000ピースを貼り付けた計算になります。

当日、高校生が、「今年の作品は、特にハイクオリティですね。」と驚きの表情で作品を見ていました。16色もの折り紙を使い分けて、根気強く間違えずに貼り付けた生徒の粘り強さに感服しました。



集団制作班の傑作「新時代 始動」